

CSRレポート

2020



ごあいさつ

平素は、丸久グループに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当「CSRレポート2020」をもちまして、当社の2020年の社会貢献活動をご報告させていただく運びとなりました。

2020年、私たちの生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、大きく変化いたしました。

当社においても、お客様や従業員の感染症対策に最大限の留意をした一年でした。

今後も、地域に根ざすスーパーマーケットとして、お客様に安心してご利用いただけるお店づくりと、従業員が安心して働ける職場環境づくりを進めてまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 丸 久

代表取締役社長 田中 康男



新型コロナウイルスにおける支援

新型コロナウイルス感染拡大によるマスク不足解消の為、2020年5月8日に山口県へマスク計4万枚を寄贈させて頂きました。

9月23日には、台湾の国立台湾師範大学が、日本の新型コロナウイルス感染拡大予防の現状、特に医療従事者が置かれている厳しい現状を憂慮され、寄贈を付託された医療用マスク約1千枚を山口大学へ寄贈させて頂きました。

10月3日には野田学園卓球部応援のためマスク4,000枚を寄贈、11月17日には、防府市へ国立台湾師範大学より寄贈を付託された医療用マスク及び児童用マスク計1,750枚を寄贈しました。



山口市及び山口市物産事業連絡協議会より、新型コロナウイルスの影響で被害を受けている地元事業者の応援依頼を受け、「コロナウイルスに負けるな！地元応援フェア」として、アルク薬店の一角を貸与して特に被害を受けているお土産関係や飲食関係の事業者様を中心に5月5日～6日の2日間出店していただきました。



地産地消

中村女子高等学校とのコラボ商品の販売は、今年で4回目となり今年のテーマは、「山口県の食材を使用した丼物」で、地産地消を基本方針に調理科の生徒が一品ずつ開発し、2020年12月10日にアルク薬店にて、「大根と鹿野おこめ豚の豚バラ丼」を限定100パック販売いたしました。



「地域の食材をもっと食べよう！～あなたのレシピをお店の惣菜メニューにしてみませんか？」をコンセプトに「宇部産タケノコを使った料理コンテスト」を行いました。応募総数80点にもものぼり、地元宇部市山口県からはもちろん関東遠方からのご応募もあり、多くの方に宇部産たけのこをPRすることができました。ご応募いただいたレシピをもとに「うっぼくたけのこのチリソース」を当社惣菜部で、再現・商品化することとなり、2020年4月16日～17日の2日間限定で宇部地区6店舗にて販売しました。

その他住民サービスの向上

当社では、お客様参加型募金「LOVEやまぐちプロジェクト」（募金百貨店プロジェクト）を実施しております。このプロジェクトは「あなたの街をよくするお買いものをしませんか？」をスローガンに、地域のお客様にお買い上げ頂いた寄付つき商品の売上の一部を地域の共同募金会に寄付し、お客様が暮らしておられる街の福祉サービス向上や環境保全など様々な分野で役立てられるものです。

2020年3月～2021年2月の、参画企業は8社、対象商品は27商品、募金額の合計は、452,666円となりました。プロジェクトがスタートした、2013年度からの累計募金総額は、7,200,080円となりました。

子ども食堂への支援

2020年11月20日に
山口県子ども食堂・子どもの居場所
ネットワークへTシャツ3,480枚
を寄贈させていただきました。
このTシャツは毎年秋に開催してあり
ます「S&Bちびっ子マラソン大会」
が中止となった事に伴い、当社を
通じてお届けする運びとなりました。



2020年3月19日にグループ各店舗にて
生産農家支援及び子育て支援のため、宇部市・
周南市・山口市・田布施町・周防大島町へ学校
給食を提供している松月堂製パン株式会社
(宇部市)のバターしぼりパンを、県内10ヶ所
の児童養護施設および5ヶ所の子ども食堂へ
無償提供させていただきました。



当社は、山口県子ども食堂・子ども居場所
ネットワークが実施する「子ども食堂応援宣言」の活動に賛同し、丸久グループ全店・
関連事業所の90箇所において、2020年1月16日からの30日間、店頭募金を実
施し、多くのお客様より寄せられた義援金20万円を、3月5日に寄託いたしました。
今後も普及・定着に協力してまいります。

環境問題への取り組み

店頭にて容器別にリサイクル資源を回収して、資源の再利用を促進しています。
2020年度の回収量およびこれまでの推移は以下のグラフのとおりです。



観光・文化及びスポーツの振興

当社は、山口市が9月4日から開始した実証事業であるシェアサイクリングステーションを、11月18日にアルク平川店駐車場に設置しました。シェアサイクルとは、市内各所に設置されたステーションであれば、どこでも自転車をレンタル・返却することができるものです。観光をはじめ、当市を訪問された方の二次交通としての機能や市民の生活等における移動手段として、自転車利用の可能性を検証しています。

(料金50円/15分・クレジットのみ)



当社は2016年度より、山口県内のスポーツの振興を応援しようと「チームやまぐち応援募金（寄付つき商品）」を企画し、店舗で対象商品を販売してまいりました。

今回公益財団法人山口県体育協会へ贈呈した寄付64,280円は、2020年6月から10月までに販売した対象商品に関するもので、国体選手の強化および県内のスポーツ振興に広くお役立ていただく予定です。



当社とスポンサー契約を締結した戸上隼輔（とがみしゅんすけ）選手が来社され、2020年1月13日～19日に開催された「天皇杯・皇后杯2020年全日本卓球選手権大会」における、3位入賞という輝かしい戦績報告を受けました。

当社より、戸上隼輔選手や野田学園卓球部の皆様にお役立ていただくよう米100Kg・スポーツドリンク10ケース・栄養捕食ゼリー10ケースを贈呈いたしました。今後も、戸上隼輔選手の更なる活躍を支援してまいります。

地域連携

6月27日、ルルサス防府内の防府市地域協働支援センターにおいて「フードバンク山口ほうふステーション開所式」が開催され、ルルサス2階防府市地域協働支援センターにフードバンクポストが設置されました。県内6ヶ所目の開所となります。

防府市民活動支援センターの開所中は、随時食品を受け取っていただけるようになりました。なお、受け取りには事前登録が必要です。

当社においても、防府市内のアルク店舗の他、県内において15店舗にフードバンクポストを設置しています。



11月6日山口県庁にて「やまぐち虐待防止全力宣言企業」登録証交付式が開催され、村岡嗣政県知事から当社含め、14の企業・団体に登録証が交付されました。

将来を担う子どもたちのため、店舗での声掛けや啓発ポスター掲出及びチラシ配布などにより、児童虐待の防止・撲滅の活動を推進してまいります。また、関係団体・行政・登録企業・団体と活動に関する情報交換を行い、協力・支援に取り組んでまいります。



安心・安全

2020年10月14日に丸久プロセスセンターの竣工式を実施しました。

この新センターは平成30年4月に発表いたしました中期経営計画に基づき、スーパーマーケット事業における将来を見据えた物流体制及び生鮮及びデリカ商品提供機能の強化を目的として行うものであります。

これにより惣菜・弁当の製造のレベルアップ、また各店舗で行う生鮮食品（精肉・鮮魚）の加工を集中処理し、各店舗の作業負担を軽減するとともに、最新の設備を導入することで、原料の入荷から商品の加工及び出荷、センターから各店への輸送中においても温度・衛生管理を一元的におこない、より安心して安全な商品を消費者にお届けいたします。

